

環境バイオマス共生学専攻

専門科目(バイオマス)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02AF361	水環境モデリング	1	1.0	1・2	春AB	月2			水、生態系、流域などに関わる現象を説明し、その数値モデル化手法を解説する。	担当教員が不在、履修予定の学生がいなかったため
02AF401	環境バイオマス共生学専攻特論I	1	1.0	1・2	秋C春季休業中	集中		吉田 昌樹, 中山剛	環境バイオマス共生学の藻類、代謝制御学および植物生理学分野に関する特別講義を行う。	履修予定の学生がいなかったため
02AF402	環境バイオマス共生学専攻特論II	1	1.0	1・2	秋C	集中			環境バイオマス共生学の水資源学、水環境学および微生物学分野に関する特別講義を行う。	履修予定の学生がいなかったため
02AF403	環境バイオマス共生学専攻特論III	1	1.0	1・2	春C秋ABC	集中				履修予定の学生がいなかったため

生命・環境・研究倫理 科目群 -国際ルールに基づく倫理観の向上-

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
0A00101	応用倫理	1	1.0	1 - 5	秋B	集中	理科系 C103	松井 健一, 大神明	研究倫理や医療倫理など状況に特化した倫理原理は、必ずしも相互に補完する関係にないため、現代社会の中で最善の質を求めるための明確な指針とはなっていない。こうした絡まった倫理原理を解きほぐすことを試みる。	英語で授業。 対面
0A00102	環境倫理学概論	1	1.0	1 - 5	秋B	集中	理科系 C103	松井 健一, 渡邊和男	環境倫理は、社会における対人関係だけでなく、人と自然環境の関係について考える助けとなる。こうした広い視野を持つことで、我々は生態系の一部として日々の活動が倫理的かどうかを考えることができる。この授業では、学生に対し世界市民として、環境問題を解決するため、ユニバーサルな倫理大綱や法律を構築する必要性について考えてもらう。	英語で授業。 対面
0A00103	研究倫理	4	1.0	1 - 5	春BC	随時		岡林 浩嗣, 大須寛壮	研究活動に従事する上で踏まえるべき研究倫理の基礎を、具体的事例を交えて講義する。研究不正(FFP)、研究費の不正使用、その他のコンプライアンスなどを取り上げる。また、これらを理解するための前提となる、科学技術政策、研究助成のしくみ、申請や審査のしくみなどについても触れる。 本科目は講義を主体としつつ、講義の間に演習(個別演習・グループ演習)を交互に挟む構成とする。講義においては、研究倫理と研究公正に関連する基本概念を整理すると共に、研究不正(FFP)、研究費の不正使用、その他のコンプライアンスに関わる問題などを取り上げる。また、これらを理解するための前提となる、学術研究活動をとりまく環境の変化や、科学研究費の申請や審査のしくみなどについても触れる。特に特定不正行為に関しては具体的事例を元にその原因や背景を解説し、受講者が研究活動を行う上で必要な対策について具体的に考える機会を与える。	オンライン(オンデマンド型)
0A00104	生命倫理学	1	1.0	1 - 5	春C	金5,6		野口 恵美子, 杉山文博, 我妻 ゆき子, 西村 健, 柳 久子, 川崎 彰子, 高橋 一広, 菅野 幸子	遺伝子治療、臓器移植、人工臓器、生殖医療、遺伝子診療、薬物やその他の治療法の治験などの現代の医療や医学研究には、インフォームドコンセント、個人の尊厳やプライバシー、脳死判定やリスクマネージメント、治療停止の選択など生命倫理にかかわる多くの問題を含んでいる。現代医療が抱える生命倫理諸問題の基礎知識、基本的考え方を習得するとともに、実例により学ぶ。	オンライン(オンデマンド型)
0A00105	企業と技術者の倫理	4	1.0	1 - 5	春C	集中	3L207	樹谷 英紀	多くの技術者は企業に属し、その中で社会とビジネス的な関わりを持ちながら仕事を行っている。本講義では、具体的事例や現場の声を取り上げながら、企業における技術者の倫理について議論する。	7月11日(火)6限、20日(木)、25日(火)、27日(木)6~8限 対面・オンライン(ライブ)併用のハイブリッドで実施します。 (対面での受講、オンラインでの受講の両方可) 対面(オンライン併用型)

研究マネジメント力養成 科目群 -自ら研究課題を発見し設定する力や自ら研究方法等を構築する力の向上-(2019年度以前入学者においては、下記の科目を大学院共)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
------	-----	------	-----	--------	------	-----	----	------	------	----

0AS0702	研究者のための学術情報流通論	1	1.0	1						自らの専門分野の学術情報流通と評価を見つめなおし、他分野の研究評価の在り方を知ることで、学術全般についての意識を高めるとともに、研究と学術情報流通のあり方についてマクロに考える。	2024年度開講せず。
---------	----------------	---	-----	---	--	--	--	--	--	---	-------------

情報伝達力・コミュニケーション力養成 科目群 -コミュニケーション能力や情報発信力の向上-

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
0A00201	テクニカルコミュニケーション	4	1.0	1 - 5	春B	集中	3K102	野村 港二	事実やデータに基づいて行われる情報発信であるテクニカルコミュニケーションを円滑に行うための基本を、講義と演習で修得する。講義では、発信する内容を組み立てるための発想法の活用法、誰にでも一通りに伝えるための文法、レイアウトデザインの基礎理論、文字と絵の役割の違いなどをあつかう。さらに、語彙を豊富にするための演習、物事を数多くの視点から説明するための演習、専門用語に頼らずに内容の本質を伝える演習などを通して、テクニカルコミュニケーションを実践的に学ぶ。	対面(オンライン併用型)
0A00202	Presentations for General Audiences	4	1.0	1 - 5	春C	集中		ウッド マシュー クリストファー	本講義ではコミュニケーションの基礎理論、英語でのパブリック・スピーキング、プレゼンテーションの技術の修得を目標とする。また、学んだ理論・技術を応用活用する経験として、実際に聴衆を前にしたプレゼンテーションをおこなう。	This course is limited to 30 people. If there are more than 30 people at the course registration deadline, a lottery will be held, however priority will be given to students enrolled in the Certificate Program in Science Communication. 英語で授業。 対面
0A00203	異分野コミュニケーションのためのプレゼンテーションバトル	2	2.0	1 - 5	春ABC秋A	集中		後藤 嘉宏, 逸村 裕, 小峯 隆生	プレゼンテーションの初歩から中級までを対象とし、ドラマレッシンを通し、異分野学生それぞれによるプレゼンテーションをベースに、現代に必要なアカデミックスキルを磨くことを目的とする。	オンライン(同時双方向型)
0A00204	Global Communication Skills Training	4	1.0	1 - 5	春B	集中		ラクワール ラン ディープ, 重松 篤 美	対面でのコミュニケーションのスタイルには、人それぞれに個性があります。どのようなコミュニケーションスタイルを持つ相手とも正確に情報を伝達しあうことが、信頼を得て成功するための鍵になります。この授業では、情報を効率よく受け取ったり、正確に話すための練習を通して、コミュニケーション力を高めます。受講するためには、ある程度の英語力が必要です。また、受身ではなく発言や議論を通して積極的に授業に参加することが求められます。	教室:5C212 英語で授業。 対面
0A00205	サイエンスコミュニケーション概論	1	1.0	1 - 5	春AB	金2		山科 直子	サイエンスコミュニケーション(SC)とは「難しく敬遠されがちなサイエンスをわかりやすく説明することである」という理解はきわめて一面的である。SCの対象は科学技術分野の専門家、非専門家を問わないため、「サイエンスの専門家と非専門家との対話促進」がSCであるとも言いきれない。広い意味でのSCとは、個人々人については社会全体が、サイエンスを活用することで豊かな生活を送るための知恵、関心、意欲、意見、理解、楽しみを身に付け、サイエンスリテラシーを高め合うことに寄与するコミュニケーションである。そのために必要なこと、理念、スキルなどについて概観する。	オンライン(同時双方向型)
0A00206	サイエンスコミュニケーション特論	1	1.0	1 - 5	秋AB	金2		山科 直子	現代社会は科学技術の恩恵なくして成り立たない。科学技術はわれわれの生活に深く根ざしており、よりよい社会を築いていくためには一人でも多くの人が科学技術との付き合い方に関心を向けることで、社会全体として科学技術をうまく活用していく必要がある。そのためには様々な立場から科学技術についてのコミュニケーションをし合うことで科学技術を身近な文化として定着させ、社会全体の意識を高める必要がある。このような問題意識から登場したのがサイエンスコミュニケーションという理念である。この理念が登場した背景を知ると同時に、方法論としてはどのようなものがあるのかを議論しつつ、コミュニケーションスキルの向上も目指す。	01AA032と同一。 オンライン(同時双方向型)

0A00207	サイエンスコミュニケーター養成実践講座	3	2.0	1 - 5	春BC 夏季休業中	集中			主として、自分の専門の科学を一般の人々にわかりやすく伝えられるコミュニケーション能力の養成を中心に、国立科学博物館の資源や環境を活用した理論と実践を組み合わせ対話型学習を進める。 理論面では、サイエンスコミュニケーションとは?サイエンスとは?といった考え方をはじめ、メディア・研究機関・大学・博物館など、各機関・領域で活躍しているサイエンスコミュニケーターの実践を踏まえた理論を学習する。また、様々な人々に科学を伝える際に効果的なプレゼンテーションの方法について学修する。 実践面では、ライティングに関する課題を通じた文章の書き方や表現方法の学習、国立科学博物館の展示室における来館者との双方向的対話を目指し、自らの専門分野についてのトークを作成・改善・実施・考察する。	実施場所：国立科学博物館 対面
0A00208	人文知コミュニケーション：人文社会科学と自然科学の壁を超える	1	1.0	1 - 5	秋AB	集中	3A202	池田 潤, 岩崎 拓也	哲学、歴史、文学、言語学、社会科学、地域研究などの人文社会分野における学術研究の成果をどのように社会に伝え、人々の知的好奇心を呼び起こし、当該学問分野の社会的認知度を如何に向上させるか、その考え方、方法、それらを担う人材に求められる必要なスキルなどについて学ぶ機会を提供する。人文社会分野における「学問と社会を結ぶ」ためのスキルを磨くための内容を含む。加えて、現在発展が著しい人文社会分野における最先端機器を駆使して行う研究は多くの学術的成果を生み出しており、その魅力は計り知れない。このような最先端研究に基づく解析法は自然科学分野の最先端技術を活用したのもでもあり、ここに人文社会科学と自然科学の接点があり、分野融合の意義、有用性、重要性を含めた科学の現状を多くの大学院生に紹介するための科目とする意図も企画者側にある。	対面(オンライン併用型)
0A00209	総合資料学：歴史文化の高度化研究とその伝達方法	1	2.0	1 - 5	夏季休業中	集中		徳丸 亜木, 和氣 愛仁, 堤 智昭	「総合資料学」とは、主に大学や歴史系博物館が持つ資料を多様な形で分析・研究するための学問です。多様な「モノ」資料を時代・地域・分野等によって分類し、分野を超えた視点から統合的に分析することで、高度な共同利用・共同研究へと結びつけます。日本の歴史資料の活用による、人文学・自然科学・情報学の分野を超えた新たな日本史像の構築、学問領域の創成を目指すものです。よって、受講生にはそれらの視点を養い、内容を理解し、その担い手となるための基礎的知識と能力の養成のための第一歩を経験する機会を提供します。加えて、このような視点、知識、能力、考え方の基本は受講生の専門分野にとらわれり特化されることなく、筑波大学のすべての分野の大学院生に必要とされるものであり、汎用的智として、さらには国際的な活動を志向する大学院生にとっても有用な知的基盤に資するものとして位置付けて授業を構成しています。	実施場所：国立歴史民俗博物館 対面

キャリアマネジメント 科目群 -産業界や地域社会へ飛び立つ豊かな力の向上-

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
0A00401	JAPICアドバンストディスカッションコースI—多極化する世界とこれからの日本	2	1.0	1 - 5	秋AB	集中		坪内 孝司	最新の社会問題、国際問題、ビジネス上の課題を対象に議論を行うため、産業界のトップリーダーを講師として招聘する。 世界が益々流動化する中で日本の現状と課題を再確認すると共に、今後の変化に対応する為に何が必要か検証・議論することで、社会人基礎力として重要なさまざまな能力を身に着けることを目的とする。 事前学習を通じて情報収集力を、授業時間中の討論を通じてディベート力を、レポート作成を通じてまとめる能力を身につける。	履修申請時は条件があるのでシラバス必読のこと。第1回及び第2回：筑波大学睡眠医学研究棟1階講堂、第3回：双日株式会社本社で行う。いずれも13:00から。対面
0A00402	JAPICアドバンストディスカッションコースII—日本が目指すSociety5.0と次世代モビリティ	2	1.0	1 - 5	春BC	集中		坪内 孝司	次世代モビリティの技術革新とスマートシティの社会実装を事例にSociety5.0実現取り組みと未来社会像について議論する。人間を中心とするサイバーとフィジカルが高度に融合した未来社会像であるSociety5.0に係る政策を共有。エマージングテクノロジーとイノベーションの最新動向を共有、グループセッション、パネルディスカッションを通じた相互コミュニケーションによる演習で講義を行う。	履修申請時は条件があるのでシラバスを必読のこと。第1回～第3回いずれも13:00から筑波大学睡眠医学研究棟1階講堂にて実施 対面 状況に応じてオンライン講義に変更の場合あり

0A00403	ダイバーシティとSOGI/LGBT+	4	1.0	1 - 5	春季休業中	集中		河野 禎之, 土井裕人, 梅田 恵	産業化、技術革新、国際化による変化にともない、人々の生活や働き方、人間関係にもさまざまな変化が生まれている。本科目では、さまざまな属性や特徴を有する個人が包摂される社会とはどのような社会か、そこに生きる個人はどのような人生を生きるのか、なぜ男女共同参画やダイバーシティ(多様性)を推進する必要があるのか、その方法と意味を理解することを目指す。特に近年のダイバーシティ推進の重要なトピックである「SOGI」「LGBTQ+」に代表される性的マイノリティについて集中的に授業を行う。そのために、実践家の講師等による話題提供とともに質疑応答や対話を重ね、より広い視野と柔軟な発想の獲得を目指しながら、受講生個人の生きる力、社会力を身につけることにつなげる	授業は日本語で行う(レポートは英語可)オンライン(同時双方向型)授業中は匿名で参加可。日程は後日公表する。詳細についてはManabaiにて周知する
0A00404	ワークライフミックス—モーハウスに学ぶパラダイムシフト	1	1.0	1 - 5	秋B	集中		野村 港二, 浦山俊一, 光畑 由佳	仕事と私生活を調和した新たなビジネススタイルである、「ワークライフミックス」を講義の基本テーマとして取り上げることで、新たな価値創造の基礎となるアントレプレナーシップや、多角的思考からワークライフを捉え、受講者のキャリアマネジメント能力の向上を図る。 また、「ワークライフミックス」を実践している企業である「モーハウス」を事例として取り上げることで、ワークライフに関わる物の見方と考え方を習得し、受講生が自分の仕事や今後のライフプランについて、多様な角度から思考できるようにする。	対面
0A00405	魅力ある理科教員になるための生物・地学実験	3	1.0	1 - 5	春C夏季休業中	集中		横井 智之, 岡根泉, 澤村 京一, 中山 剛, 八畑 謙介, 角替 敏昭, 上松 佐知子, 田村 憲司, 浅野 真希, トファエル アハメド	気象、地質、岩石、昆虫、植物、菌、微生物、内燃機関といった、「生物」と「地学」を合体した内容をフィールドワーク重視の実習形式で実施することにより、受講者が将来理科教員になった場合に役立つ実践的な実習・実験の高度専門知識を身につけることを目的とする。	対面
0A00406	アクセシビリティリーダー特論	1	1.0	1 - 5	春AB	木5	2D205	末吉 彩香, 竹田一則, 名川 勝, 岡崎 慎治, 左藤 敦子, 小林 秀之	障害のある人々が包摂された社会を実現するために、身体障害や発達障害といった様々な障害の理解や支援に関する幅広い講義を行う。また、障害のある人に役立つ支援技術、諸外国と日本における支援の比較や展開といったマクロな視点や今日の話題を通して、多様な背景をもつ人々が共生することのできる社会とはどのような社会なのかについて考える力を身につけることを目標とする。	対面(オンライン併用型)
0A00407	脳の多様性とセルフマネジメント	4	1.0	1 - 5	秋AB	集中		佐々木 銀河, 野呂文行, 岩本 友規	本学大学院生が産業界や地域社会で自身の能力を十分に発揮できるよう、自己および他者における脳の多様性を適切に理解することを通して、自身の特性に合ったセルフマネジメントスキルを身に付けることを目標とする。 講義としては、発達障害から定型発達の連続体として捉えられる「脳の多様性(ニューロダイバーシティ)」について概説する。加えて学業や日常生活において有効なセルフマネジメントテクニック・ツールを紹介する。 演習としては、自身にはどのような特性があるかを客観視する個人ワークを行う。また自身の特性に合ったマネジメント方法を身に付ける。さらに社会で活躍する発達障害当事者をゲストスピーカーとして招き、自己および他者における脳の多様性を深く理解するための事例を提供する。	対面(オンライン併用型)
0A00408	筑波クリエイティブ・キャンプ・アドバンスト	4	1.0	1 - 5	秋AB	集中		神谷 誠, 五十嵐浩也, 森川 亮	「起業」について知ることは、実際に起業をする人だけでなく、研究においても自分の研究結果がどう社会に貢献するかを見据えることに役立つ。当科目では、大学における研究や、自分の関心を元に起業をすること、また、将来のキャリアとして、「起業をする」という選択肢について指導を行うことで、「自分の思いで社会を変える」というイノベーション的視点を持った人材の育成を目標とする。 本格的に起業を目指す受講者(シーズホルダー)に対しては、本学出身者を中心とする経営者陣が起業プランに対するメンタリングを行い、起業プランを具体化して筑波大学発ベンチャー設立に向けた支援を行う。	・起業を目指す学生に本学08を中心とする起業家メンターがスキルを伝授します! ・最終発表会では受賞者に賞品が授与されます ・高大連携により高校生が聴講参加します ・オンライン授業(ライブ、オンデマンド併用)、対面のグループ活動の設定日の可能性あり 実務経験教員、対面(オンライン併用型)つくば市特定創業支援事業

0A00409	博士のキャリアパス	2	1.0	1 - 5	春B	集中	福島 美佐子	目的意識をもって博士課程を過ごしてもらうために、博士後期課程修了後の多様なキャリアパスについて考察する。社会における博士の役割について取り上げるとともに、博士課程で習得することが期待される能力は何か、汎用的スキルやマネジメント能力等について紹介する。キャリアデザインについても言及する。 アカデミアや産業界等で活躍する博士人材をゲストスピーカーとして招き、多様な博士のキャリアパスを考察するための生きた事例を提供する。講義のほか、グループディスカッションやクラス討論を通して、自らのキャリアパスと大学院時代の過ごし方についての考えを深める。	6/8, 6/22 対面
---------	-----------	---	-----	-------	----	----	--------	---	-----------------

知的基盤形成 科目群 -自らの研究分野以外の幅広い知識・教養の涵養-

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
0A00501	生物多様性と地球環境	5	1.0	1 - 5	春C	集中		吉岡 洋輔, 林 久喜, 國府方 吾郎, 海老原 淳	筑波大学つくば機能植物イノベーション研究センター（農場）および国立科学博物館筑波実験植物園において、栽培植物および野生植物の多様性と地球環境に関連する講義とフィールド実習等を行う。本科目では生物多様性と地球環境についての理解を深め、生物多様性を取り巻く現状や自然科学的および社会科学の課題に関する知識を習得することを目的とする。	実施場所：国立科学博物館筑波実験植物園、筑波大学つくば機能植物イノベーションセンター農場 人数制限あり（30人まで） 対面
0A00502	内部共生と生物進化	1	1.0	1 - 5	春C	集中		深津 武馬	非常に多くの生物が、恒常的もしくは半恒常的に他の生物（ほとんどの場合は微生物）を体内にすまわせている。 このような「内部共生」という現象から、しばしば新しい生物機能が創出される。共生微生物と宿主生物がほとんど一体化して、あたかも一つの生物のような複合体を構築する場合も少なくない。 共生関係からどのような新しい生物機能や現象があらわれるのか？ 共生することにより、いかにして異なる生物のゲノムや機能が統合されて一つの生命システムを構築するまでに至るのか？ 共に生きることの意義と代償はどのようなものなのか？ 個と個、自己と非自己が駆け合うときになにが起こるのか？ 共生と生物進化の関わりについて、その多様性、相互作用の本質、生物学的意義、進化過程など、基本的な概念から最新の知見にいたるまでを概観することで、そのおもしろさと重要性についての認識を共有することをめざす。	オンライン(同時双方向型)
0A00503	海洋生物の世界と海洋環境講座	5	1.0	1 - 5	秋A	集中		稲葉 一男, 柴 小菊	海は地球上の生命の源であり、生物の多様性を生みだしてきた。地球と我々人間を理解するためには、海洋生物に関する知識が不可欠である。 本科目では魚類をはじめ、さまざまな海洋生物の体制、生殖、寄生種に関する観察や実験、講義を行うことにより、海洋生物の多様性および海洋環境についての理解を深めることを目的とする。 下田臨海実験センターにて実施することで、研究調査船による採集や磯採集など野外でのより実践的な実習も行う。	対面 場所：下田臨海実験センター
0A00504	科学的発見と創造性	1	1.0	1 - 5	春B	集中		ラクワール ランディープ, 井山 弘幸	科学的発見がおこなわれる現場の歴史的状況を再現し、行為者の創造性がどのような形で発揮されたのか、「ハンソンの理論負荷性」、「ニュートンの林檎と万有引力の理論」、「ゼメルヴァイスによる産褥熱の予防」、「ジョン・ドルトンと化学的原子論」等様々な事例研究を通じて解明する。 科学的発見が単なる偶然でも、幸運でもなく、周到に企図された創造性によるものであることを理解することを目的とする。	教室：5C212 対面
0A00505	自然災害にどう向き合うか	1	1.0	1 - 5	春B	月5, 6	3A409	白川 直樹	国土交通省で活躍する有識者を講師として招聘し、災害列島とも言われる我が国の現状及び温暖化等により今後益々増加する災害リスクに対して、社会としてどのように対応するべきかを考える。 「総合的な津波対策」、「大規模土砂災害への対応」、「地震対策」等のテーマを通じて、防災施設の整備の状況、リスク等を踏まえた今後の社会資本整備のあり方についての考え方が整理されること、個人や地域の核としての防災対応力を身につけることを目的とする。	オンライン(対面併用型)
0A00506	「考える」動物としての人間—東西哲学からの考察	1	1.0	1 - 5	秋C 春季休業中	集中	1C306	井川 義次, 津崎 良典, 志田 泰盛, 土井 裕人	「考える」のは人間の特性である。人間は言葉を使って知性によって「考え」る。だが「考える」とはどのような営為なのか、東西の哲学がどのように「考え」てきたのかを参照しながら「考える」ことについて「考える」。	対面

0A00507	21世紀と宗教	1	1.0	1 - 5	春C	集中	木村 武史	21世紀の現代社会の情勢は宗教と深く関わっており、複雑な国際情勢、テロなどの暴力と対峙せねばならない現代社会において、それを解く鍵ともなる宗教について正しい知識と理解を得ることは重要である。 当科目では、21世紀の現代社会の情勢と宗教とのかかわりについて、いくつかの事例を取り上げながら考察する。 宗教による対立や政治への介入は紀元前の昔から続いてきた人類の課題とも言え、その歴史や背景を正しく知り、現在のグローバルな社会において正しく対応するための知識と理解を身につけることを目的とする。	オンライン(同時双方 向型)
0A00508	UT-Top Academist's Lecture	1	1.0	1 - 5	秋AB	水6	柏木 健一,五十嵐 沙千子,山田 一夫	本学学長をはじめとする経験豊かな講師陣が、大学と学問、あるいは学問と人生について広いテーマで講義を行う。本講義は、大学で学ぶことや自分の今後の人生について熟考する機会を受講生に提供するとともに、明確な目的意識をもって自発的に研究していくことができるように、学問への道案内をすることを目的とする。また、学長をはじめ本学に関係する優れた研究者が、自らの学問と人生体験を語ることにより、日本および世界において次世代の指導者となりうる有能な研究者や高度専門職業人を育成する機会とする。	実務経験教員。オンライ ン(対面併用型)
0A00509	スポーツパフォーマンス 向上のための先端的 体・医・工融合研究	1	1.0	1 - 5	秋AB	水3	高橋 英幸,渡部 厚一,清水 如代, 北原 格,鈴木 健 嗣,高木 英樹,松 井 崇	スポーツ科学、医学、システム情報工学の多様な領域の教員が連携して、高いスポーツパフォーマンス発揮、さらには、幅広い健康増進を目指す各領域の最先端研究を解説し、議論を通じて理解を深める。人間の心身の機能(体育/スポーツ)と健康(医学)に関する深い理解、及び、幅広い情報分析能力(情報科学)と社会実装のためのシステム構築力(システム工学)を有し、研究成果をパフォーマンス向上(エンパワーメント)に活用できる総合智の育成を目的とする。	教室：GS1棟(体育 系)205室 対面